



## 2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月13日

上場会社名 株式会社フジックス 上場取引所 東  
 コード番号 3600 URL https://www.fjx.co.jp  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤井 一郎  
 問合せ先責任者(役職名) 常務取締役管理部長 (氏名) 松尾 勇治 (TEL) 075(463)8111  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	4,242	△4.2	△121	—	△55	—	△62	—
2024年3月期第3四半期	4,427	1.4	△33	—	30	—	102	—

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 171百万円(△62.4%) 2024年3月期第3四半期 457百万円(20.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	△45.35	—
2024年3月期第3四半期	74.81	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	11,793	10,093	79.5
2024年3月期	11,572	9,992	80.2

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 9,379百万円 2024年3月期 9,283百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,635	△2.9	△188	—	△105	—	△85	—	△61.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期3Q	1,468,093株	2024年3月期	1,468,093株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	91,485株	2024年3月期	91,485株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期3Q	1,376,608株	2024年3月期3Q	1,376,649株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	P. 2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(会計方針の変更に関する注記)	P. 8
(セグメント情報等の注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	P. 9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、訪日外国人によるインバウンド需要の増加や企業業績、所得環境の改善傾向などもあり、回復基調が続きましたが、長引く国際紛争や中国経済の先行き懸念、わが国の物価上昇などにより、個人消費の動向を含めて先行きは不透明です。

アパレル・ファッション業界におきましては、インバウンド需要の恩恵が見られるものの、記録的猛暑や冬の到来遅れなどの気候要因、物価上昇による節約志向の高まりにより、衣料品の消費はまだら模様の上、流通在庫の調整も加わり、衣料品の生産は全体として慎重な傾向が続く、特に国内においては、衣料用原材料や縫い糸など縫製副資材の需要は低迷が続きました。一方で家庭用縫い糸の受注は海外向けを含めて僅かながら回復傾向が見られ、車両内装用縫い糸の受注も引き続き堅調に推移しました。

また、これらの業界の状況やアジア各国の経済情勢等を受けて、当社グループの中国やタイ国の子会社におきましても、厳しい商況が続いていることから、当第3四半期連結累計期間の売上高は、一昨年の夏以降実施した当社の販売価格改正の効果や円安進行に伴う為替換算レートの影響があったにもかかわらず、4,242百万円（前年同期比4.2%減）となりました。

また利益面につきましても、当社における価格改正や販売品目構成の変化などの増益要因があったものの、日本セグメント全般の売上高の減少に加えて、工場操業度の低下や原材料価格の上昇などによる製造コストの高止まりが響いて、営業損失は121百万円（前年同期は33百万円の損失）、経常損失は55百万円（前年同期は30百万円の利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は62百万円（前年同期は102百万円の利益）となりました。なお、前年同期には子会社清算益76百万円を特別利益に計上したため、前年同期比の減益幅が大きくなっております。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

#### 日本

当社グループにおきましては、当第3四半期連結累計期間は、当社の2024年4月から12月まで、国内子会社の2024年2月から10月までの業績が連結されております。

当四半期のアパレル・ファッション業界におきましては、インバウンド需要の恩恵が見られるものの、昨夏の記録的猛暑や冬の到来遅れなどの気候要因、物価上昇による節約志向の高まりにより、衣料品の消費はまだら模様の上、流通在庫の調整も加わり、衣料品の生産は全体として慎重な傾向が続く、衣料用原材料や縫い糸など縫製副資材の需要は低調のまま推移しました。一方で家庭用縫い糸の受注は海外向けを含めて僅かながら回復が見られるようになり、車両内装用縫い糸の受注も引き続き堅調に推移しました。

これらの状況から、一昨年の夏以降実施した当社の一部商品の価格改正効果があったにもかかわらず、当社や国内子会社全般の販売の落ち込みにより、当セグメントの売上高は、3,318百万円（前年同期比7.4%減）となりました。

また、利益面につきましても、当社における価格改正や販売品目構成の変化などの増益要因があったものの、当セグメント全般の売上高の減少に加えて、工場操業度の低下や原材料価格の上昇などによる製造コストの高止まりが響いて、セグメント損失は114百万円（前年同期は26百万円の利益）となりました。

## アジア

当セグメントに属する全ての海外子会社は、事業年度の末日を12月末日と定めており、当第3四半期連結累計期間は、2024年1月から9月までの業績が連結されております。

当四半期は、日本向け衣料品の生産が中国からベトナムなど他国に移行する動きが続いているため、ベトナムにおきましては日本向け衣料品の生産が堅調ですが、中国やタイ国におきましては、それぞれの国内衣料品消費の落ち込みも加わり、衣料品の生産は全般に低調が続きました。このような状況のなか、中国におきましては新規販路の開拓にも努め、僅かに成果も出始めたことや、円安進行に伴う為替換算レートの影響もあり、当セグメントの売上高は、923百万円（前年同期比9.6%増）となりました。

一方、利益面につきましては、中国の工場の操業度は回復傾向にあるものの、市況低迷による販売競争の激化により、価格への転嫁が困難な状況に加えて、タイ国での販売数量の落ち込みや工場操業度の低下、原材料価格の高止まりなどが響いて、セグメント損失は32百万円（前年同期は46百万円の損失）となりました。

## (2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて220百万円増加し、11,793百万円となりました。主な増減は、現金及び預金の減少176百万円があったものの、投資有価証券の増加261百万円、その他（投資その他の資産）の増加118百万円などがありました。

負債は、前連結会計年度末に比べて120百万円増加し、1,700百万円となりました。主な増減は、買掛金の増加88百万円、その他（固定負債）の増加76百万円などがありました。

純資産は、前連結会計年度末に比べて100百万円増加し、10,093百万円となりました。主な増減は、利益剰余金の減少131百万円があったものの、その他有価証券評価差額金の増加181百万円、為替換算調整勘定の増加56百万円などがありました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期連結業績予想につきましては、概ね計画通りに推移していることに加え、2024年12月2日に公表した「連結子会社における経営の合理化に関するお知らせ」、2024年12月11日に公表した「連結子会社の固定資産の譲渡に関するお知らせ」に関する通期連結業績への影響額は、現時点で入手可能な情報に基づき検証した結果、親会社株主に帰属する当期純利益に与える影響額は、軽微であると判断していることから、2024年11月12日に「連結業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想の数値に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,607,834	2,430,983
受取手形及び売掛金	1,050,901	1,080,949
電子記録債権	226,315	316,693
棚卸資産	2,808,441	2,765,640
その他	57,109	69,681
貸倒引当金	△2,838	△2,528
流動資産合計	6,747,764	6,661,421
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,810,060	1,774,436
その他(純額)	721,489	690,322
有形固定資産合計	2,531,549	2,464,758
無形固定資産		
投資その他の資産	219,628	216,028
投資有価証券	1,708,805	1,969,806
その他	365,934	484,606
貸倒引当金	△1,144	△3,132
投資その他の資産合計	2,073,596	2,451,280
固定資産合計	4,824,774	5,132,068
資産合計	11,572,538	11,793,489
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	341,318	429,482
未払法人税等	30,836	4,620
賞与引当金	42,465	21,851
その他	186,499	183,423
流動負債合計	601,119	639,378
固定負債		
役員退職慰労引当金	226,270	239,962
退職給付に係る負債	56,212	48,673
資産除去債務	32,788	32,788
その他	663,152	739,248
固定負債合計	978,424	1,060,673
負債合計	1,579,544	1,700,051

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	923,325	923,325
資本剰余金	771,087	771,087
利益剰余金	6,078,728	5,947,466
自己株式	△109,415	△109,415
株主資本合計	7,663,725	7,532,463
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	838,638	1,019,929
為替換算調整勘定	724,764	781,720
退職給付に係る調整累計額	55,933	45,668
その他の包括利益累計額合計	1,619,335	1,847,317
非支配株主持分	709,933	713,656
純資産合計	9,992,994	10,093,437
負債純資産合計	11,572,538	11,793,489

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	4,427,467	4,242,195
売上原価	3,288,401	3,211,921
売上総利益	1,139,066	1,030,273
販売費及び一般管理費	1,172,203	1,151,745
営業損失(△)	△33,137	△121,471
営業外収益		
受取利息	5,758	5,492
受取配当金	39,246	49,176
賃貸料収入	18,038	18,228
その他	16,818	18,899
営業外収益合計	79,861	91,797
営業外費用		
賃貸料収入原価	7,730	8,473
為替差損	4,750	10,838
その他	4,184	6,072
営業外費用合計	16,665	25,385
経常利益又は経常損失(△)	30,058	△55,059
特別利益		
固定資産売却益	4,515	128
子会社清算益	76,838	—
特別利益合計	81,354	128
特別損失		
固定資産売却損	—	2
固定資産除却損	1,355	103
特別損失合計	1,355	106
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	110,056	△55,036
法人税、住民税及び事業税	36,126	24,762
法人税等調整額	△10,400	△4,758
法人税等合計	25,726	20,003
四半期純利益又は四半期純損失(△)	84,330	△75,040
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△18,652	△12,608
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	102,983	△62,431



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	84,330	△75,040
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	196,963	181,291
為替換算調整勘定	173,739	75,933
退職給付に係る調整額	2,698	△10,264
その他の包括利益合計	373,401	246,960
四半期包括利益	457,732	171,919
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	416,584	165,551
非支配株主に係る四半期包括利益	41,148	6,368

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。

なお、当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	日本	アジア	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	3,585,273	842,194	4,427,467	—	4,427,467
外部顧客への売上高	3,585,273	842,194	4,427,467	—	4,427,467
セグメント間の内部売上高 又は振替高	224,134	567,778	791,913	△791,913	—
計	3,809,407	1,409,972	5,219,380	△791,913	4,427,467
セグメント利益又は損失(△)	26,816	△46,172	△19,355	△13,781	△33,137

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△13,781千円は、セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	アジア	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	3,318,797	923,397	4,242,195	—	4,242,195
外部顧客への売上高	3,318,797	923,397	4,242,195	—	4,242,195
セグメント間の内部売上高 又は振替高	141,176	501,879	643,055	△643,055	—
計	3,459,974	1,425,276	4,885,250	△643,055	4,242,195
セグメント損失(△)	△114,887	△32,922	△147,810	26,338	△121,471

(注) 1. セグメント損失の調整額26,338千円は、セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	171,829千円	183,594千円